


仙台市太白山自然観察の森情報誌

No. 221

1 森の おくりもの

2010年 1月号



トビ” 

イラスト：横内 勲（大河原町）

一年の計は元旦にありというが、今年のお山（太白山）はどのような季節感を我々に見せてくれるのだろうか。ここ数年見られなくなったヒメギフチョウやオオムラサキの姿を見せてくれるというようなサプライズはあるのだろうか。今年もエルニーニョの影響で暖冬が予報されているが、季節にあった変化があったほうが動植物のためにはいいと思うのだが・・・。（武智）

みんなで探そう！ トゲトゲの木

すっかり葉を落とした冬の木々。その中でひときわ目立つ木があります。それは、トゲのある木です。今回は、冬の樹木を同定する手がかりにもなるトゲトゲの木をご紹介します。

トゲの種類

◆ 葉針 (ようしん)
葉が針に変態した
もの。

◆ 刺状突起
(しじょうとつき)
(しじょうとつき)
不規則に多数が枝の表層に
つく。形状は色々で、普通、
太く短く、基部が枝上に
盛り上がっている。



◆ 茎針 (けいしん)
枝の先端部や短枝が
針状に変態したもの。

◆ 托葉針
(たくようしん)
托葉が針に変態
したもの。

◆ 剛毛針
(ごうもうしん)
枝にはえた毛が針に
変態したもの。不規則に
生じ、密生する。

トゲは起源によって、上記のような5種類に区別されます。トゲの役割は、①大形動物から身を守る、②つる性の植物体を立体的な姿勢に保つ、③表面積を縮小して過剰な蒸散を防ぐ、④果実に付随して動物による散布を助ける等、様々ありますが、なかには機能が不明であるものも多いようです。

上記以外にも、観察の森にはイヌザンショウやハリギリ等、トゲのある木があります。ぜひ観察してみてください。

【文・イラスト：咲間】

クイズ?

【もんだい】 『すりこぎ』に使われるトゲトゲの木はどれでしょうか？

すりこぎ

- (A) タラノキ (B) サンショウ (C) クロウメモドキ



すり鉢

ヒント：すりおろしたとき、微量にこの木の成分が食べ物に入り込んで、解毒効果があると言われているよ！

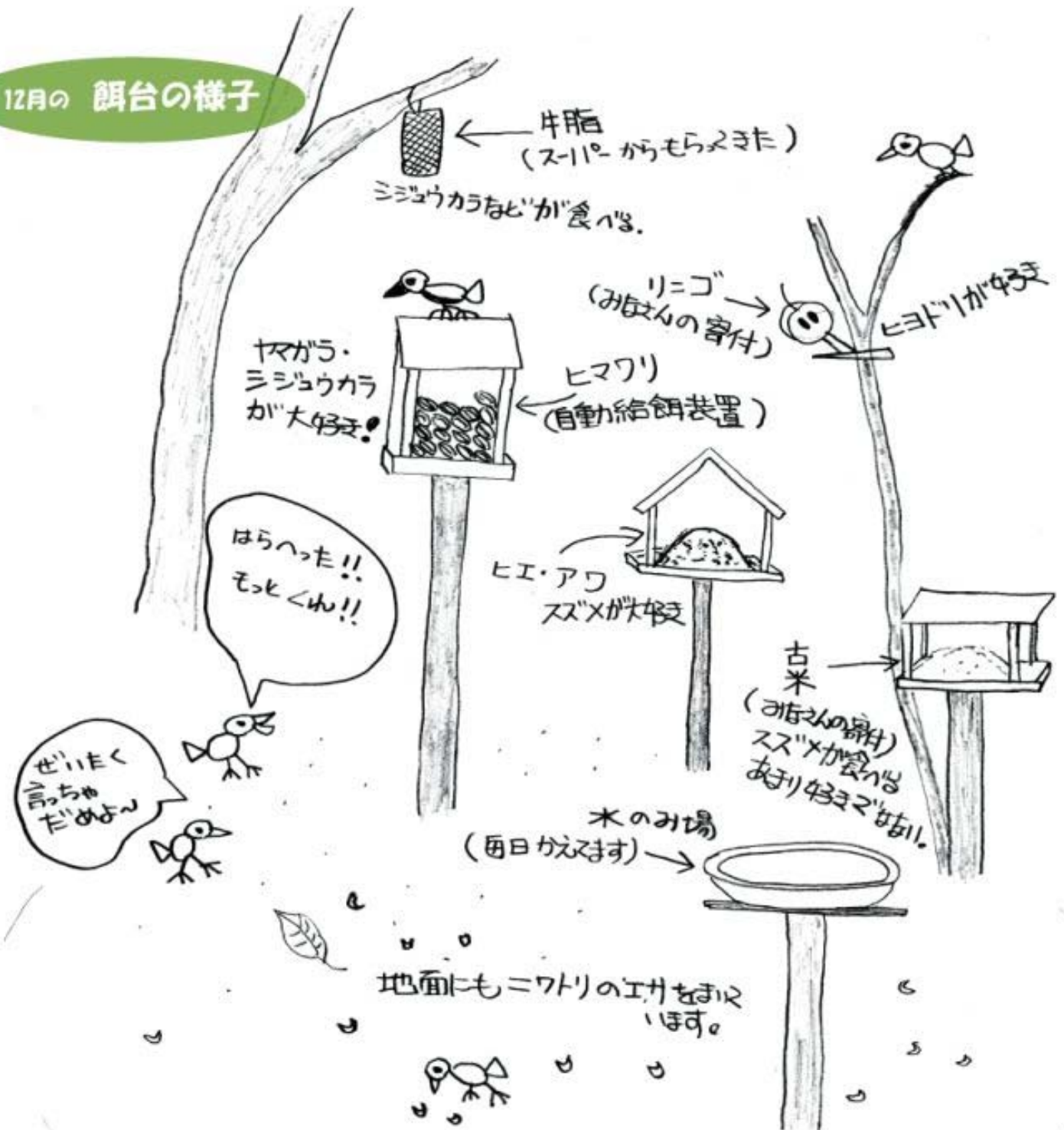
【答えは、 5ページ ㊦】

1月の生き物リスト

(過去のデータから)

12月から観察センター裏に野鳥のエサ台を設置しました。今年は昨年と比べてまだ森にたくさんの食べ物があるのか、野鳥の集まりがいまひとつのような気がします。その中でも一番初めに現れたのはヤマガラです。昨年あげたのをおぼえていたらしく、いち早く集まってきました。ヒマワリの種を一生懸命運んでいました。そのほかシジュウカラ、ヒヨドリ、アオジ、スズメ、アカハラ、ガビチョウなどが観察できます。研修室からゆっくりと見る事ができるので是非遊びに来てください。(文・イラスト：齋)

12月の餌台の様子

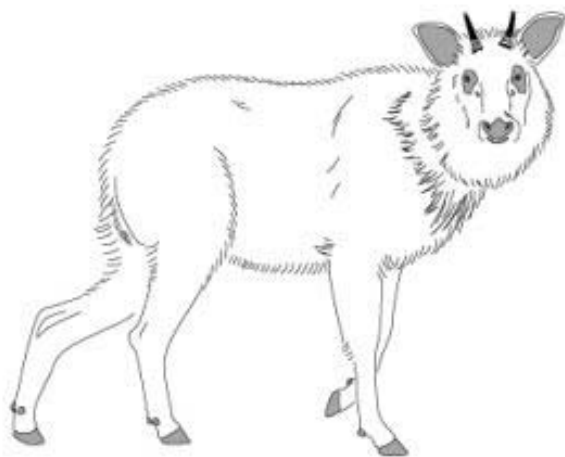


みんなで自然観察

2009年4月、私が自然観察センターに着任したときには、ここでヒメギフチョウが見られると聞いて喜んでいたのですが、残念ながら、この年は見ることはできませんでした。太白山でのヒメギフチョウ目撃の報せも、一つもありませんでした。聞くところによると、その前の年も目撃されておらず、それ以前からかなり少なくなっていたらしいのです。そして、二年連続姿を現さなかったということは、どうやら太白山からはヒメギフチョウがいなくなってしまったようです（同年、青葉区での採集記録はあります）。原因は今のところわかりませんが、自然観察センターには、「ヒメギフチョウが見たい」「放蝶したらどうか」といった問い合わせも来ています。そこで、平成21年度全国観察の森連絡協議会の議題の一つとして、「絶滅したシンボル種の復活について」と題して議論しました。様々な意見がありましたが、そのうちの一つは、「どの範囲から消えてしまったのか、現在どこにいるのかを調査することが先決で、それがわからないうちに放蝶などをするのは好ましくない（ヒメギフチョウにとってもありがたい迷惑）」ということでした。残念ながら、当センターでこのような調査を行うことには無理があります。また、ヒメギフチョウだけが太白山を代表する生物というわけでもありません。そこで、ヒメギフチョウをはじめいくつかの注目種を選定し、目撃情報の募集をしたいと思います。注目種と対象地域のリスト、報告様式は当センターにて配布しています。注目種の中には、カモシカなど、今のところ個体数が減っているとは感じられない生物も含まれています。それは、気がついたらいづのまにかいなくなっていた、ということが無いようにしたいからです。カ



ヒメギフチョウ



カモシカ

モシカについては、2009年11月に、パラポックウイルスによると思われる病変を持つ個体が観察されており、これも不安材料の一つです。また、近年分布を拡大しているイノシシやモンキアゲハなども注目種に選定しました。太白山とその周辺をフィールドとする皆さんが調査員です。ぜひ、情報提供をお願いします。

【文・イラスト: 林】

森のこえ

守っていききたい皆んなの宝
—太白山—

太白区 加藤勝久



時の移ろいや四季の変化を感じる余裕もなく、職場と自宅の往復だけだった生活が一変したのは今から5年前でした。

定年を1年前に退職し、念願だった山歩きや野鳥観察が心行くまで、できるようになったのです。「太白山自然観察の森」のすぐ近くに住む私は、登山の足慣らしを兼ねて週1～2回太白山頂に登るようになりましたが、歩いて見て、特に4月末頃の新芽の時期の山腹の美しさや小鳥の種類の多さなど、改めてこの山の素晴らしさに感動しました。

以来この山周辺をマイフィールドとして毎日のように歩くようになり、多い年は300回前後登った事もありました。

ちょうど2年前に、遊歩道散策の先輩であるAさんに感化されて野鳥の写真撮影に挑戦してみました。あんなすばしっこい小鳥を撮るなんて不可能……と思っていたのが、意外にも結構撮れることに気付きました。

カメラはど素人でつたない写真ばかりですが、今まで撮りためた写真は190種位になっています。このうち太白山周辺で撮った写真を、いつもご指導いただいている「観察センター」の方々と、楽しませてもらっている小鳥達への恩返しのため、2ヶ月毎にセンターにお届けして展示してもらっておりますので、是非ご覧いただきたいと思います。

最近この山を歩いていて気になることがあります。それは遊歩道を歩く人の数に反比例して貴重な山野草等が消えてしまっていることです。取（撮）るのは写真だけにし、市中心部からわずか30分で豊かな動植物等の自然を満喫できる、この宝—太白山—を、皆んなでマイフィールドと思って守り、育てていきたいものだと願っているところです。

クイズのこたえ

⑧ サンショウ

すりこぎには、サンショウのほかにホオノキ・キリ・ポプラ・ヤナギなどが用いられますが、サンショウの木が堅くて一番良いとされています。また、丈夫で長持ちすることから『三生(さんしょう)のすりこぎ』と言われてます。

「第8回 みんなでつくる里山あーと展」



～今年もみなさんのお気に入りの作品をお寄せください。～

<テーマ> 仙台市近郊の自然や野生の動植物に関するもの
 <募集期間> 平成22年2月2日(火)～28日(日)
 <募集内容> 写真の部 2Lプリント 5点以内
 絵画の部 10号以下の作品 2点以内
 クラフトの部 2点以内



◎展示期間 平成22年3月4日(木)～3月28日(日)
 ◎会場 仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター研修室
 *詳しくは自然観察センターまでお問い合わせください。



1月の催し



「ガイドウォーク」

1月のテーマは『冬越しの生きものたち』です

10日, 17日, 24日, 31日 (毎週日曜日)

10:00～11:30

12月～3月は、午後の部はありません。

★申し込み不要です
自然観察センター前にお集まりください。

「フィールドサイン」

動物たちが活動した痕跡を探しながら散策します。



1月30日(土)

10:00～11:30

【持ち物】暖かく歩きやすい服装で
【定員】20名(先着)

申し込み⇒ 1月7日9時から電話にて

休館日

1～4日, 12日, 18日, 25日

「太白山周辺に生息する動物たち」

2月27日(土)に、森の講話会があります。
詳しくは、森のおくりもの2月号と、
市政だよりにて。

♪森へおいでください♪



宮城交通バス

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅前から
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター



車

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



定期購読のお知らせ

住所・氏名・電話番号と、何月号から希望かを明記のうえ、80円切手12枚を同封して、自然観察センターまでお申し込みください。

2010年1月号(毎月1回5日発行)

発行: (財)仙台市公園緑地協会
編集: 仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63
TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133